

## 情報公開用文書(藤沢市民病院で実施する医学系研究)

2026年4月13日 作成

■研究課題名	日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究
■研究の対象	救命救急センターに搬入され、重症外傷を有する患者すべて
■研究目的・方法	<p><b>【目的】</b> 重症患者に行っている診療とその結果に関する情報を、日本救急医学会と日本外傷学会が日本外傷データバンクとして全国規模で広く集積することで、各施設における外傷診療のデータを全国データと比較することにより各参加施設における診療の現状を明らかにし、診療の質向上に寄与することを目的とする。さらに、集積された全国データを分析することで、どの診療行為が予後を改善し得るか明らかにすること、診断精度の向上、予後予測指標の作成などの研究を実施することによって、本邦全体の外傷診療システム向上に寄与することを併せて目的としている。</p> <p><b>【方法】</b> 1) 対象患者さん 本研究の対象となるのは、全国の救急医療施設を受診され、重症外傷(6段階の重症度スコアで3以上)を有する患者である。 2) この研究で用いられる方法 個人を特定できる情報を除外した形で、診療に関する種々のデータを日本外傷データバンクのデータベースに登録する。登録はインターネットを用いた入力により行う。</p>
■研究期間	倫理委員会承認日から2028年3月31日
■研究に用いる 試料・情報の種類	年齢、性別、受傷日時、受傷原因、受傷現場および病院到着時のバイタルサインおよび処置、既往歴、検査所見、救命処置、輸血の有無、手術の有無、診断名、合併症、入退院情報(入院先、入院日数、退院先、死亡) など。
■試料・情報の 取得と保管方法	個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ収集を行う。データの紛失、改ざん、漏えいなどを防ぐために、データベースへのアクセスはIDとパスワードにより適切に管理する。 JTDB(またはJTCRまたはJTDBとJTCR)は国際外傷レジストリーPan Asian Trauma Outcome Study (PATOS)との共同研究体制を構築し、アジア各国のPATOSデータを提供してもらうとともに、自施設からの匿名化JTDB登録データをPATOSに提供する。
■外部への 試料・情報の提供	収集した匿名化データは学術的研究施設(海外を含む)に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用しない。研究成果は個人が特定できないような形で発表する。日本外傷データバンクはデータベース用のサーバー管理を、プライバシーマーク取得業者(パース・ビュー社)へ委託している。受託業者は適切にデータベースおよびデータを管理する旨を契約書に記載し、データ取扱いについて適宜日本救急医学会と日本外傷データバンクが監督している。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので、下記連絡先まで電話またはFAXにてお申し出ください。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象いたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒251-8550 藤沢市藤沢2丁目6番1号 藤沢市民病院 救急科 (研究責任者) 赤坂 理 電話番号:0466-25-3111(代表) FAX:0466-25-3545</p>	